

## 武漢事務所週刊ニュース（2012年8月18日～24日）

### 3年間で200億元(約2600億円)を投資し、武漢を花の町へ

8月21日 長江網

今年の清明節の小型連休には、大勢の国内外の観光客が花見のために武漢に集まってきた。唐良智武漢市長は皆で力を合わせ、「武漢で花見をしよう」という盛り上がり醸成するよう要求した。昨日、武漢市政府常務委員会にて「武漢市花見旅行発展計画」が承認された。この計画によると、3年あるいはそれ以上の時間をかけ、桜や梅、ハス、キンモクセイ、ツツジなどの四季折々の花が一年中咲く「花の都」建設に乗り出すということである。

武漢市は2015年の園芸博覧会「中国国際園林花卉博覧会」を開催する予定で、花見の観光産業の発展に繋がるものとして大きな期待を寄せている。計画によると、園芸博覧会を機に、東湖花卉観賞園と張公堤森林公園の2公園、雨潤花都花卉交易センターと安山花卉苗木交易センターの2施設、花の観賞ができるエリア6カ所を重点的に整備する予定である。花あふれるテーマパークや花があふれる都市景観街並み、主要幹線道路、都市のまわりのグリーンベルト建設と合わせ、花々が街中で見られる街づくりを進める。

計画によると、武漢市は全国的に有名な花の都、国内外において桜や梅、ハス、キンモクセイの観賞名所、華中地域で最大の園芸交易センターにしていくという。花観賞ツアーを観光産業の重要な柱として発展させる。

### 省都26都市平均給与ランキングが発表、武漢が8位で全国平均以上

8月24日 中新網

全国各地の統計局が公表したデータによれば、全国の22省の省都と4直轄市の2011年都市部現役労働者の平均給与ランキングで、広州が5万7473元(約747,149円 1元=13円で計算 以下同様)でトップとなった。武漢は8位の4万5643元(約593,359円)で全国平均を上回った。

国家統計局によると、2011年全国都市部の非民間企業の現役労働者の平均給与は4万2452元(約551,876円)で、中新網財經頻道の調べでは、広州、北京、南京、杭州、上海、銀川、瀋陽、武漢、合肥、長沙、太原の11都市で全国平均を上回った。

全国の給与ランキングでは、東部の都市が多く上位に入り、「東高西低」という状況になっているため、収入分配改革を推進し、その格差の調整に力を入れる。